

## 第76回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：平成29年12月25日（月）9：15～9：20
- 場所：特別室（本庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を始めます。

議題、「総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針（案）」について、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

福島県総合計画「ふくしま新生プラン」の着実な推進を図るため、平成29年度施策取組状況につきまして、総合計画審議会において御審議をいただき、11月に知事に対して意見の具申がなされたところであります。

本日は、審議会の意見に対する県の対応方針を決定したいと考えております。

資料1を御覧ください。総合計画の各分野、施策といただいた御意見をまとめておりますが、本日はいくつか主なものについて御説明いたします。

1つ目は、「人と地域」です。「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」の分野について、審議会より『包括的な子育て支援策や、効果的な情報の発信が必要』、『地域全体で子育てを支え合う気運の醸成が必要』という御意見をいただきました。

県の対応方針としましては、「市町村が行う保育所等の整備の支援や保育人材の確保などによる保育環境の整備、効果的な子育て支援情報の発信」、さらには「保護者同士の交流の場の提供や子育て家庭への訪問等」を進めていくこととしたいと思っております。

2つ目は、「活力」です。「風評払拭とブランド力向上に向けた取組の推進」の分野では、『GAPの認知度向上と取得に向けた支援の充実が必要』、『風評払拭のための県民自らによる積極的な地産地消の推進が必要』という御意見をいただきました。

こちらに対しましては、「研修会の開催等によるGAPの取得支援、認証取得者情報の公開等を通じた消費者に対する認知度の向上や信頼性の確保、パッケージの改良等によるブランド力の強化」、また「県産食材の安全性に関する知識の普及や啓発、気運醸成による地産地消の更なる推進」を進めていくこととしております。

なお、本日の案が決定となりました後には、各部局において当初予算への反映を行い、審議会に対して、反映状況を報告する予定です。

以上です。

#### 【鈴木副知事】

何か御意見・御質問はありますか。

それでは、本案をもって決定といたします。

次に報告事項です。「平成30年度政府予算案等」について、企画調整部長。

#### 【企画調整部長】

平成30年度政府予算案について御報告します。

政府予算対策については、6月の政府要望、8月の復興再生協議会、さらに、11月の緊急要望を始め、知事を筆頭に全庁を挙げて取り組んでまいりました。

資料2-1を御覧ください。特に、避難地域の生活環境整備や、避難者等の生活再建のための支援のほか、風評・風化対策の強化など、本県の要望を踏まえた対応を図っていただきました。

右の欄に、政府予算を使って、本県において想定される活用を掲載しております。今後は、市町村等と連携しながら、依然として残る課題に対して効果的な取組を進めていくことが求められます。

資料2-2を御覧ください。福島イノベーション・コースト構想関連予算について主なものをまとめたものです。構想の具体化に向けてしっかりと取り組んでまいります。

予算案は、来月招集される予定の通常国会に提案されることとなりますが、各部局におかれましては、福島県全体の復興・創生を更に加速させるよう、引き続き各省庁の動きを的確にとらえて対応するようお願いいたします。

#### 【鈴木副知事】

今の説明に関して何かありますか。

無ければ、知事からお願いします。

#### 【知事】

まず、総合計画審議会から、19項目の意見をいただきました。

来年度は復興・創生期間の3年目、これまでの取組を一層加速させ、確

かなものとしていくことが重要です。

審議会の意見を真摯に受け止め、全庁を挙げて、来年度の施策の構築・実施に取り組んでください。

次に、先週、閣議決定された政府予算案については、様々な機会を通じて福島県の考えを国に訴えてきた結果であり、安倍総理、吉野復興大臣を始め各省庁には福島県の実情を踏まえた対応をしていただきました。

これは、ここにいる各部局長を始め、全庁一体となって予算確保に向け、取り組んだ成果であります。

平成30年度は、復興・創生期間の折り返しとして極めて重要な年度となります。引き続き直面する様々な課題に全力で取り組むよう、各部局長それぞれの立場でリーダーシップを発揮してください。

以上です。

**【鈴木副知事】**

それでは以上で、復興推進本部会議を終了します。